opusdei.org

パウロ酒井俊弘（オプス・デイ属人区司祭）、大阪大司教区補佐司教に任命される

酒井俊弘神父の略歴を紹介します。カトリック中央協議会と大阪大司教区のホームページをご覧ください。

2018/06/04

この度、オプス・デイ属人区の司祭、酒井俊弘神父が教皇フランシス

コ聖下より、大阪大司教区の補佐司教に任命されました。

酒井神父の新しい仕事のためにお祈りください。

以下に被選補佐司教の略歴を紹介します。

プロフィール

1960年3月23日兵庫県芦屋市生まれ。同年、カトリック芦屋教会にて受洗。

六甲学院中高、大阪教育大学卒業後、長崎市の精道学園に勤務。小学校教師として3年間を過ごす。

1985年よりイタリア・スペインに留学。

1988年スペインにて司祭叙階（オプス・デイ属人区）。

1990年に帰国後、精道学園に指導司祭として復職。宗教教育と司牧にあたるかたわら、長崎教区内の各地で教区の司牧の手伝いをする。

2004年芦屋に異動。セイドー文化センターを中心にオプス・デイ属人区の活動の指導にあたるかたわら、大阪教区の司牧も手伝ってきた。

2007年～2011年聖トマス大学講師。

2011年～2018年大阪教区典礼委員会委員。

2014年～2018年大阪教区みこころの点字会指導司祭。

著書・翻訳書

『アレクシア』（聖母文庫）、『愛を育む心』（くすのき出版）、『雇われ羊飼いの言いたい放題』『雇わ

れ羊飼いのふたたび言いたい放題』『雇われ羊飼いのみたび言いたい放題』『聖性への招き―ふつうのおばさん、おじさんも聖人に―』『聖ホセマリア・エスクリバーへの病者のための九日間の祈り』（教友社）他。

---

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/sakai-osaka/ (2025/12/19)